

★電子情報技術科★

東京・北関東地区総合順位 6 位

チャンピオンシップ大会初出場

New

ETロボコンへの取り組み(チャンピオンシップ大会編)

電子情報技術科では、総合制作実習のテーマのひとつとしてETロボコンに取り組んでおり、今年度も6名の学生が取り組みました。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、すべてのイベントがオンラインでの実施となってしまいました。ここでは、初出場となったチャンピオンシップ大会(以下、CS大会)の様子や、その後の活動の様子を写真で紹介させていただきます。

今年度のCS大会は11月21日(日)に開催されました。CS大会には全国9地区から選抜されたアドバンスクラスとプライマリークラス合わせて39チームが参加しました。そのうち、我々がエントリーしたプライマリークラスには29チームが参加しました。

CS大会も地区大会と同様にオンラインでの開催となりましたが、全国の強豪チームが参加する熱い戦いが繰り広げられました。結果として、我々は29チーム中27位となり、競技結果も地区大会の結果を上回ることができませんでした。

しかし、選手たちはCS大会を通して、多くの全国の強豪チームを知り、そこから技術面でもまだまだ学ぶべきことが多くあることを実感できたと思います。選手たちには、このETロボコンを通して学んだ知識や技術、そして失敗という経験を進路先でも活かし、更なる飛躍を目指してチャレンジして欲しいと思います。選手の鷺木君、尾形君、小池君、齋藤君、柴崎君、滝口君、1年間お疲れ様でした。

(令和4年3月)

受験生の皆様、電子情報技術科に入ってETロボコンをやってみませんか！！

ETロボコンとは??

ETロボコンは正式名を「ETソフトウェアデザインロボットコンテスト」といいます。ETロボコンは愛称。

オープン参加型で産学官連携協力により開催され、日本の産業競争力に欠くことのできない重要な「組み込みシステム」分野におけるエンジニアの育成を目指し、若手、初級エンジニア、および中級エンジニア向けに、分析・設計モデリング開発、製品サービスの企画開発にチャレンジするロボットコンテストです。

競技は、規定の走行ロボット(LEGO Mindstorms™)と同一バッテリーを使いソフトウェアの違いだけで走行タイムを競う競技部門と、UML等で作成したソフトウェアの分析・設計モデルが審査されるモデル部門で構成されています。※UML(Unified Modeling Language)

今大会は、昨年までの2部門3クラス(デベロッパー部門にプライマリークラスとアドバンスクラスの2クラス、ガレッジニア部門)からエントリークラス、プライマリークラス、アドバンスクラスの3クラスに変更されました。

今大会では11月にチャンピオンシップ大会が開催されました。

尾形 駿介選手(岩手県立宮古高等学校 出身)

リーダー

私は、ET ロボコンに参加して、知識や技術が身につく、よい経験になったと感じます。特にモデル作成では、モデルを書くのは初めてで、うまくできるか心配でした。それでも技術教育に参加し、先生や仲間たちに教えてもらうことで、モデルの書き方を深く学ぶことができました。また、チームリーダーとして、チームをまとめ、苦勞も多々ありましたが、チームとして最高の結果を得ることができとてもうれしいです。

ここで学んだ知識、経験は、普段体験することのできないことばかりで、ET ロボコンに参加できてよかったと思います。今後社会人になってもET ロボコン参加の経験をいかして仕事をしていきたいです。

**鵜木 竜也選手(千葉県立市川工業高等学校出身)**

副リーダー

私は、ET ロボコンに参加して、知識や技術が身につく、よい経験になったと感じます。ET ロボコンに参加するのは初めてで、動きの内容を他のチームや過去のデータを参考にして作りました。はじめは、最速タイムで走るルートの作り方や自作ルートを正確に走らせる理論が分からず苦戦しました。

しかし、技術教育に参加したり、先生や仲間たちと教え合い、仲間といっしょに作っていきました。

そういった知識、経験は、普段体験することのできないことばかりで、ET ロボコンに参加できてよかったと思います。これから、社会人になってもET ロボコン参加の経験をいかして仕事をしていきたいです。



小池 則幸選手(千葉県立京葉工業高等学校出身)

私は、ETロボコンに参加して、知識や技術が身につく、よい経験になったと感じます。モデルの担当になり、いざ記述しようとしたとき手も足も出ませんでした。

しかし、技術教育に参加したり、仲間たちと教え合ったりして、モデルの書き方を学び、大会に相応しいモデルを記述でき、工夫点に一生懸命取り組んできました。

モデルを書く時、対策について多く考えるため、考える力も鍛えられたと思います。そういった知識、経験は、普段体験することのできないことばかりで、ETロボコンに参加できてよかったと思います。これから、社会人になってもETロボコン参加の経験をいかして仕事をしていきたいです。



齋藤 やまと選手(千葉県立船橋北高等学校出身)

自分はETロボコンに参加して、知識や技術はもちろん人とのコミュニケーション能力も向上できたと思います。

全く触れたことのないモデルを書くのはとても大変でしたが少しずつ一からやることで理解していけました、また仲間と協力することで難しい課題もクリアしていくことができました、これからも社会人としてこの経験をもとにいい人間関係をつくり楽しく仕事をしていきたいと思っています。



柴崎 雄暉選手(埼玉県立熊谷西高等学校出身)

私は、ETロボコンに参加して、プログラミングの奥深さを学びました。

理想通りに動くプログラムを作ることは難しく、チームの協力なしでは完成しませんでした。お互いアイデアを出しあい、理想の動きに近づいた時はとても嬉しかったです。授業で学んだことがどこまで通用するのかの腕試しにもなり、共同作業の大切さなどを学べたのでETロボコンに参加できてよかったです。

ETロボコン参加の経験を、今後の生活や仕事に活かしていきたいです。



滝口 竜騎選手(千葉県立千葉工業高等学校出身)

私は、ETロボコンに参加して、知識や技術が身につく、よい経験になったと感じます。プログラムを自分一人で書くのは初めてで不安な気持ちがありましたが、調べたりチームメンバーに相談したりして一つ一つ完成に近づけることができました。

そういった知識、経験は、普段体験することのできないことばかりで、ETロボコンに参加できてよかったと思います。

これから、社会人になってもETロボコン参加の経験をいかして仕事をしていきたいです。





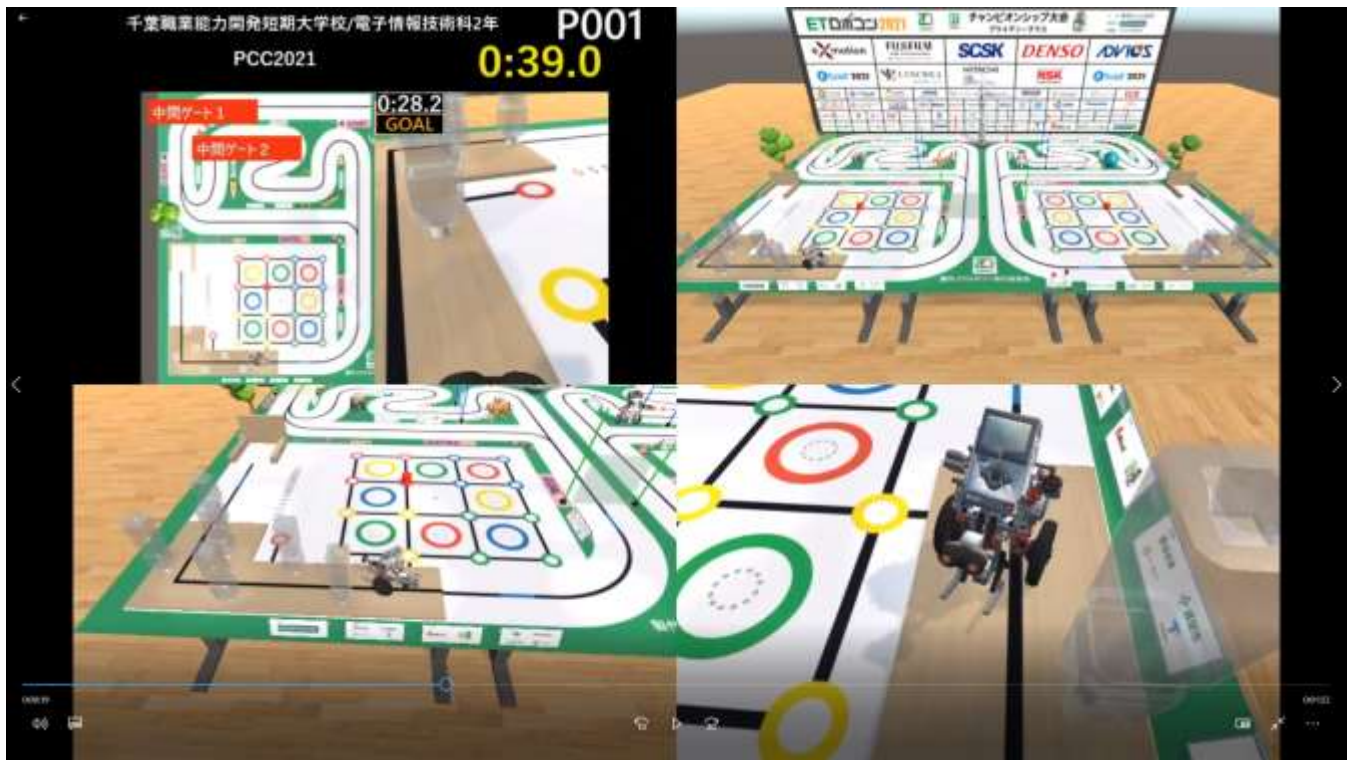
① CS大会のコースレイアウト

CS大会では地球儀などのオブジェが配置され、このオブジェの影にも注意が必要です。



② いよいよ開会式です

当日はメンバー全員が参加できました。



③ 走行競技の様子

Lコースはゴール後の難所攻略に失敗し、Rコースは途中でリタイアとなりました。



④ 表彰式の様子

プライマリークラスは学生チーム 2 チームが同タイムで優勝となりました。



- ⑤ ET ロボコン主催の交流会にも参加しました(11月9日(火))
オンラインでの開催でしたが、企業チームの様子や就職に向けての話をいただきました。
(この交流会には ET ロボコンや組込みに興味を持った1年生も参加しました)



- ⑥ 引継ぎ勉強会を開催しました(第1回目 12月17日(金))
人間力向上と1年生への引継ぎを兼ね、2年生が講師を務める勉強会を開催しました。



今年度、当校としてはCS大会へ初出場することができました。これも、学生たちの柔軟な発想力と日々の努力の成果だと思えます。この結果は、頑張れば企業チームとも競い合えることが証明できたことに繋がるり、今後の後輩たちにとっても大きな成果を残してくれたと思えます。

次期チームも6名体制で参加の予定となっており、既に活動も開始されました。次年度の新チームでも更なる飛躍を目指して頑張っていきますので、引き続きチーム PCC の応援をよろしくお願いいたします。

